

令和2年12月24日

連絡先

議会事務局 企画法務課 企画広聴班

担当者：伊藤、穴太

電話：059-224-2877 FAX：059-229-1931

2020年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」を発表します

「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」は、県議会の活動内容を広く発信することで県民の皆さんに県議会への関心を持っていただくとともに、参加意識を高めていただけるよう、県議会のホームページやe-モニター等を活用して毎年選定を行っています。

この度、2020年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」として以下の取組を選定しました。

【開かれた議会運営の実現】

- 「みえ現場 de 県議会～若者の県内定着の促進～」を開催《三重大学で討論》

【住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進】

- 新型コロナウイルスへの対応《国に意見書提出、補正予算を先議など》

【独自の政策提言と政策立案の強化】

- 「三重県産材利用促進に関する条例検討会」の設置
《県産材の利用促進に向け、精力的に調査》
- 「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」を設置
《様々な差別の解消に向け、精力的に参考人招致などを実施》

【分権時代を切り開く交流・連携の推進】

- 防災、減災、国土強靱化対策に係る意見書を提出
《市議会・町村議会議長会会長と共に国へ要望》

【議員報酬、政務活動費及び選挙など】

- 政務活動費の減額《45%減額することを決定》
- 「選挙区及び定数に関する在り方調査会」の報告
《約1年にわたる調査のとりまとめ》

【その他】

- 「大規模地震対応マニュアル」に基づく訓練の実施
《大規模災害時の議員の行動等を確認》
- 「災害対策会議」の開催《新型コロナへの議会としての対応を協議》
- 「新型コロナウイルス感染症に関する対応マニュアル検討プロジェクト会議」設置
《オンライン会議についても検討》

<選定方法>

1. 「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」の候補として18項目(自由記載を除く)をリストアップ
2. 次の方法により投票を実施(投票期間：令和2年11月27日～12月10日)
 - ・ 県議会ホームページからの県民投票
 - ・ 県議会傍聴者による投票
 - ・ e-モニターによる投票
 - ・ 県議会議員による投票
3. 正副議長が投票の結果を参考にベスト10を選定

2020年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」の投票結果

ベスト10	No.	選考基準	項目	総得票数	内訳					
					HP閲覧者・傍聴者		e-モニター		議員	
					得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
●	1	①	「みえ現場de県議会～若者の県内定着の促進～」を開催 《三重大学で討論》(2月)	255	68	52.7%	163	28.3%	24	48.0%
	2		県議会新体制発足《2年目の議会活動をスタート》(5月)	69	17	13.2%	39	6.8%	13	26.0%
	3		「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」等に関し申し入れ 《正副議長、各常任委員長から知事へ》(1月)	104	26	20.2%	65	11.3%	13	26.0%
●	4	①	新型コロナウイルスへの対応 《国に意見書提出、補正予算を先議など》(2月～)	478	67	51.9%	379	65.9%	32	64.0%
	5		CSF(豚熱)への対応 《防疫対策の強化等を求める意見書を国に提出》(3月)	137	34	26.4%	84	14.6%	19	38.0%
	6		「令和2年版成果レポート」に関し申し入れ 《全常任委員長から知事へ》(8月)	45	10	7.8%	26	4.5%	9	18.0%
●	7	①	「三重県産材利用促進に関する条例検討会」の設置 《県産材の利用促進に向け、精力的に調査》(1月)	190	38	29.5%	124	21.6%	28	56.0%
	8		「外国人労働者支援調査特別委員会」からの提言 《正副委員長から知事へ》(3月)	130	28	21.7%	91	15.8%	11	22.0%
●	9	①	「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」を設置 《様々な差別の解消に向け、精力的に参考人招致などを実施》(5月)	176	41	31.8%	110	19.1%	25	50.0%
	10		北朝鮮による日本人拉致問題の早急な解決を求め決議 《拉致問題解決に向け議会としてのメッセージを発信》(6月)	98	19	14.7%	68	11.8%	11	22.0%
	11		「議員勉強会」を開催 《テーマはデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進》(7月)	79	27	20.9%	39	6.8%	13	26.0%
	12		「紀伊半島三県議会交流会議」を開催 《共通課題について国へ要望》(7月)	114	29	22.5%	81	14.1%	4	8.0%
●	13	①	防災、減災、国土強靱化対策に係る意見書を提出 《市議会・町村議会議長会会長と共に国へ要望》(10月)	268	41	31.8%	202	35.1%	25	50.0%
●	14	①	政務活動費の減額《45%減額することを決定》(5月)	293	62	48.1%	197	34.3%	34	68.0%
●	15	②	「選挙区及び定数に関する在り方調査会」の報告 《約1年にわたる調査のとりまとめ》(10月)	139	41	31.8%	62	10.8%	36	72.0%
●	16	①	「大規模地震対応マニュアル」に基づく訓練の実施 《大規模災害時の議員の行動等を確認》(1月)	299	49	38.0%	228	39.7%	22	44.0%
●	17	②	「災害対策会議」の開催 《新型コロナへの議会としての対応を協議》(4月)	243	46	35.7%	181	31.5%	16	32.0%
●	18	①	「新型コロナウイルス感染症に関する対応マニュアル検討プロジェクト 会議」設置《オンライン会議についても検討》(8月)	373	60	46.5%	283	49.2%	30	60.0%
	19		その他	32	4	3.1%	20	3.5%	8	16.0%
得票総数				3,522	707		2,442		373	
投票者数				754 (784)	129 (102)		575 (636)		50 (46)	

() は前年の投票者数

●は「ベスト10」に選定したもの

■は各投票の上位10項目

①は3つの投票結果の全てで上位10位以内に入ったもの(8つ)

②は2つの投票結果で上位10位以内に入ったもの(2つ)

※得票率：得票数／投票者数

※HP閲覧者の投票者数：115人

※傍聴者の投票者数：14人

※e-モニター登録者数：951人(回答率60.5%)

【参考】

三重県議会の活動10大ニュース(2019年)

【開かれた議会運営の実現】

- 県議会 Facebook ページの運用開始《「いいね」上昇中！》
- 県議会新体制発足《決意新たに議会活動をスタート！》

【住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進】

- 「三重県議会 議会活動計画」を策定《今後4年間の取組をあきらかに！》
- 豚コレラへの対応《補正予算先議、国への意見書を提出など！》

【独自の政策提言と政策立案の強化】

- 「外国人労働者支援調査特別委員会」を設置《参考人招致などにより精力的に調査！》
- 「大規模地震対応マニュアル」の改訂《大規模災害時の議員の行動等を明示！》

【分権時代を切り開く交流・連携の推進】

- 議会活力度調査で全国第1位《議会活動の取組が評価！》

【議員報酬、政務活動費及び選挙など】

- 議員報酬及び政務活動費削減を開始《議員報酬月額10%、政務活動費30%減額！》
- 「選挙区及び定数に関する在り方調査会」を設置《外部有識者による調査をスタート！》

【その他】

- インターンシップ実習生を受入れ《県議会の広聴広報について提言！》

2020年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」（概要）

（令和2年11月19日現在）

～開かれた議会運営の実現～

2月 ① 「みえ現場 de 県議会～若者の県内定着の促進～」を開催《三重大学で討論》

「みえ現場de県議会」は、県議会広聴広報会議の委員等が県内各地に出向き、直接県民の皆さんからご意見をお聞きする議会広聴の取組の一つです。

2月14日に三重大学で、「若者の県内定着の促進」をテーマに開催しました。当日は、若者の県内定着の促進に取り組む関係者の方や若者の県内定着に関心のある方々が、高等学校卒業後や高等教育機関卒業後の県内定着に向けた取り組み等について意見交換を行いました。



みえ現場 de 県議会

～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～

2月～ ② 新型コロナウイルスへの対応《国に意見書提出、補正予算を先議など》

令和2年2月定例会月会議において、新型コロナウイルスへの対応に係る意見書を全会一致で可決し、議長から国関係機関等に提出しました。

3月会議では、令和元年度及び令和2年度の関連補正予算を可決しました。

6月、9月の定例会月会議のほか、4月、5月、8月には緊急会議を開催し、全員協議会において随時県当局の対策等を確認しながら、提出された新型コロナウイルス感染症に関する関連補正予算を迅速に審議・可決しました。

なお、6月定例会月会議では、感染拡大防止に向けた取り組みを速やかに実行できるよう関連補正予算の先議（6月10日可決）を行いました。



参議院請願課長に意見書を手渡す議長

※11月定例会月会議では、執行部幹部職員に新型コロナウイルス感染症の疑いが生じたことから、12月4日の朝、急きょ災害対策会議を開催し、同日実施予定の一般質問の延期について協議しました。これを受け、その後の本会議で当日の一般質問を延期することを決定しました。

～独自の政策提言と政策立案の強化～

1月	<p>③ 「三重県産材利用促進に関する条例検討会」の設置 《県産材の利用促進に向け、精力的に調査》</p>
<p>三重県産材の利用の促進に関し、条例の制定に向けた調査および検討を行うため、1月に「三重県産材利用促進に関する条例検討会」を設置しました。</p> <p>令和3年3月の条例案提出をめざして、10月までに13回の検討会を開催し、木材利用に関わる関係者からの聴き取りや兵庫県議会と兵庫県関係部局からの聴き取りなどを行い、検討を進めました。</p> <p>また、7月には少人数の委員による調査も含め、合わせて4回の県内調査を実施し、県内の県産材利用に関わる現場の実態や課題等を調査しました。</p>	



ウッドピア松阪での県内調査

5月	<p>④ 「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」を設置 《様々な差別の解消に向け、精力的に参考人招致などを実施》</p>
<p>様々な差別の解消に向け、既存の条例との整合を図りながら、新たな条例制定も視野に入れ、調査・検討を行うため、5月に「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」を設置し調査を進めています。</p> <p>特別委員会では、新型コロナウイルス感染症に関わる差別、インターネットによる人権侵害、部落差別、女性・性に関する差別、外国人に対する差別などの実態を調査するため、10月までに13回会議を開催し、その中で、合わせて7回の参考人招致を実施しました。</p>	



参考人招致の実施

～分権時代を切り開く交流・連携の推進～

10月	<p>⑤ 防災、減災、国土強靱化対策に係る意見書を提出 《市議会・町村議会議長会会長と共に国へ要望》</p>
<p>9月定例会月会議において可決された「防災、減災、国土強靱化対策の継続及び拡充を求める意見書」を、10月1日に議長が国関係機関に対して提出し、要望の実現を働きかけました。</p> <p>特に、国土強靱化担当大臣あての意見書については、三重県市議会議長会会長の世古明伊勢市議会議長、三重県町村議会議長会会長の上村久仁南伊勢町議会議長とともに内閣官房国土強靱化推進室を訪れ、五道仁実次長に対して直接手渡しました。</p>	



内閣官房国土強靱化推進室次長に意見書を手渡す3議長

～議員報酬、政務活動費及び選挙など～

5月	⑥ 政務活動費の減額《45%減額することを決定》
<p>新型コロナウイルス感染症対策の推進に資するため、議会における会派に係る政務活動費を減額することを決定しました。</p> <p>その内容は、令和2年7月から令和3年6月までの間、45%減額（既に30%減額しているところに15%を上乗せ）するものです。</p> <p>これを踏まえ、正副議長が、知事に報告を行うとともに、新型コロナウイルス対策の充実について申し入れを行いました。</p> <p>なお、政務活動費の減額は、6月30日、議員提出議案として本会議に上程され、同日可決されました。</p>	



知事への申し入れ

10月	⑦ 「選挙区及び定数に関する在り方調査会」の報告 《約1年にわたる調査のとりまとめ》
<p>昨年6月28日に、三重県議会における選挙区及び定数の在り方について調査するため、「選挙区及び定数に関する在り方調査会」を設置しました。</p> <p>調査会では、大学教授など外部の有識者8名を委員として、「人口減少・地方創生時代における県議会の在り方や果たすべき役割」とそれらを踏まえた「三重県議会の議員の定数及び選挙区の在り方」について、10回の会議と2回の現地調査を通じて調査が進められました。</p> <p>本年10月20日に、東京大学で調査会の金井座長から議長に対して、約1年にわたる調査の結果をとりまとめた報告書が提出されました。</p>	



座長から報告書を受け取る議長

～その他～

1月	⑧ 「大規模地震対応マニュアル」に基づく訓練の実施 《大規模災害時の議員の行動等を確認》
<p>大規模地震対応マニュアルに基づき、1月15日、災害発生時に議員や事務局職員がとるべき行動、役割等を確認することを目的に「大規模地震対応訓練」を実施しました。</p> <p>訓練は、本会議中に三重県南東沖を震源とする南海トラフ地震が発生（三重県内最大震度7）という想定で実施。地震発生のお音が流れると、議長のお指示で議員らは机の下に隠れ、身の安全を確保する姿勢をとり、その後、周囲の安全を確認した上でヘルメットを着用し、非常階段を使って議事堂の正面玄関前まで避難しました。</p> <p>最後にマニュアルに基づき、地震発生から72時間経過後最初に到来する午後1時という想定で、災害対策会議を実施しました。</p> <p>議会独自で行う災害訓練としては初めての取り組みでした。</p>	



議場での訓練

4月	⑨ 「災害対策会議」の開催《新型コロナへの議会としての対応を協議》
<p>新型コロナウイルス感染症に的確に対応していくため、「大規模な災害その他緊急事態への対応に関する三重県議会指針」を適用し、4月17日から5月29日にかけて8回の災害対策会議を開催しました。</p> <p>議会運営や議員の行動等について、様々な協議を行うとともに、議会の基本的な方針である「三重県議会新型コロナウイルス感染症対応方針」を定めました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症に関する執行部の取組等についても説明を受け、質問を行うなどの対応を行いました。</p>	



災害対策会議

8月

⑩ 「新型コロナウイルス感染症に関する対応マニュアル検討プロジェクト会議」設置《オンライン会議についても検討》

コロナ禍における議会の対応方針を示すマニュアルを策定するため、8月19日の議会改革推進会議役員会において議員8名で構成する「新型コロナウイルス感染症に関する対応マニュアル検討プロジェクト会議」を設置しました。

8月28日には第1回会議を開催し、以降10月28日までに6回の会議を開催し、精力的にマニュアル策定に向けた検討を行いました。

プロジェクト会議では、これまでの新型コロナウイルス対策にかかる議会の取り組みの検証、これらを踏まえた今後の議員の行動指針の検討等を行うほか、議員参集のリスクが生じた場合の、委員会のオンライン開催にかかる条例改正についても検討を行いました。



プロジェクト会議